

入るのも嫌だと思ったボロボロ物件！古家は嫌！でもコレなら

・

こ.....

今日は、私がカラースバリューに入社した時に初めてしたことでもある「古家（空き家）見学」のことを書きたいと思います。

なぜ、「古家（空き家）見学」したかというと、それは、古家（空き家）とはどういうものなのか？を知る為です。

「古家（空き家）見学」は、上司に連れて行ってもらいました。

どんな古家を見に行ったかというと、上司が目をつけた古家（空き家）の売物件です。これが、私が想像してた以上のボロボロ物件。（汗）

どれくらいボロボロ物件かというと・・・。

「（上司には言ってますが）正直、入りたくない・・・。」
「だって、服が汚れそうだし、空気悪そうだし、変な臭いしそうだし・・・。」
と思う程のボロボロ物件です。





古家（空き家）って言葉では、汚いイメージないけど古家 = ポロ物件じゃん！
って思っていました。

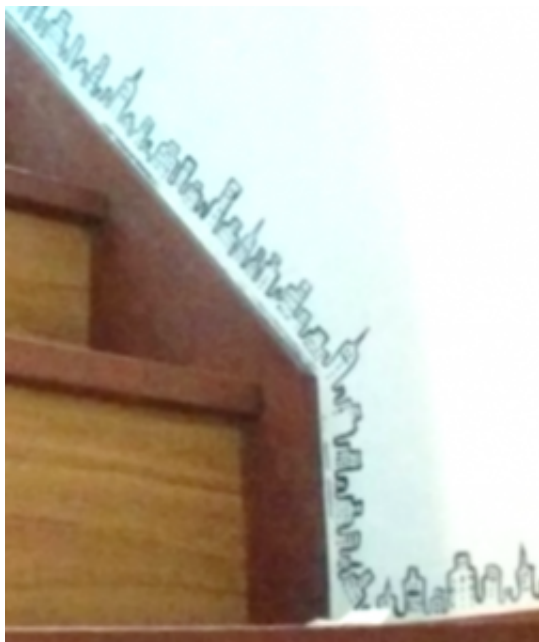
何件か古家（空き家）を見て回った後
弊社（カラースバリュー）でリフォーム（古家再生）した物件を見せてもらいました。





階段もおしゃれやし。

私、右の階段のイラストにすごく惹かれました(*´`)



上司に聞いてみると、これはオーナーさんと相談してイラストレーターさんに頼んで書いていただいたそうです。

こーやって“少し変わった特徴をつける”
いわゆる“差別化”というそうなのですが
これをすることによって他の貸物件と差がつき
入居者さんが付きやすくなるらしいです！！

で、カラースバリューのスタッフはこれを全員意識してるみたい。

なるほど~~~~って感じですね
(上司！勉強になりました)

こんな感じで、古家(空き家)物件の再生前、再生後を何件も見て回って行くうちに
次、ここはどんなデザインの家になるんやろ~・+(* ° ° *)+・

って見に行くのが楽しくなってくるあやこでした。

今日のまとめ

- 人が住みたくないような古家（空き家）を買う。
- 人が住みたくなるようなリフォーム（古家再生）をする。
- リフォームは、差別化が大事。

では、またお会いしましょう！